

1999年7月28日

いすゞ 中型トラック「フォワード」に日本で初めて
4バグエアサスペンションを採用し 『フォワードマックス』 として発売

いすゞ自動車（株）は、中型トラック「フォワード」シリーズに、中型トラック（*）として日本で初めて4バグエアサスペンションを採用したモデルを新たに設定し、「フォワードマックス（FORWARDMAX）」として8月19日から全国一斉に発売する。（*GVW8～13.5トンクラス）

いすゞ自動車は、大型トラック「ギガ」に日本で初めて4バグエアサスペンションを採用し、「ギガマックス」として1997年10月に発売した。この4バグエアサスペンションは、従来のリーフサスペンションと比較し、荷台の振動を大幅に抑え、積み荷の輸送品質を確保できることにより市場から高い評価をいただいている。

今回「フォワード」に4バグエアサスペンションを採用するにあたり、『積載量・積載位置に関係なく優れた輸送品質を確保する』ことを開発のテーマとし、エアバグのサイズなどを中型トラック用に改良を施した。

この結果、一度の運行で積載量が変化することの多い中型トラックにおいて、荷台の前端部、中央部、後端部の各位置で振動を大幅に低減し、高品質輸送を実現した。

フォワードマックスの主な特長は次の通り：

1. 輸送品質の向上

大型トラック「ギガマックス」に続き、リヤアクスルを4つのエアスプリングで支持する「4バグエアサスペンション」を日本で初めて中型トラックに採用した。

中型トラック用にエアバグのサイズを変更するなどの改良を行い、積み荷の積載量・積載位置が変化しても安定した振動の低減を達成（*）し、荷崩れや荷傷みを防止することで輸送品質を大幅に向上させた。

（*従来のリーフサスペンション車と比較し、社内実験値で荷台の各位置の振動を1/3から1/4に低減させた。）

2. 積載能力の向上

4バグエアサスペンションの構成部品にアルミ材を多用するなど、積極的な軽量化の結果、従来の当社2バグエアサスペンション車（リーフスプリング併用タイプ）と比較し、約180kgの大幅な重量低減を達成した。

このことにより積載能力が向上し、GVW8トンクラスのエアサス搭載バン用完成車（ショートキャブ・荷台長6.2m）で最大積載量4トンを実現した。

3.幅広い車型展開

GVW 8～13.5トン（最大積載量4～6トン）車に4バグエアサスペンションを採用することで、ユーザーが積み荷の重量ごとに車両を選択できるようにした。

さらに、ショートキャブの設定や、4種類のエンジンバリエーションを用意するなど、様々なユーザーニーズに対応できる車型展開とした。（全83車型）

4.耐久信頼性の向上

4バグエアサスペンションは構造的にリーフスプリングを必要としないため、さび付きや折損の心配がないことに加え、荷台への振動低減によるボディ寿命の向上が図られ、耐久信頼性を向上させた。

また、アルミ材の多用により防錆性も向上させた。

5.その他

エアサスペンションの特性を利用した車高調整装置をオプション設定した。

プラットフォームとの段差をなくし、荷役性の向上を図った。

<目標販売台数> 200台/月

≪フォワードマックス 東京地区希望小売価格≫（消費税含まず）

車型	主な仕様	最大積載量	エンジン (ネット)	東京地区希望小売価格
KK-FRD 35J4SXT	ドライバン	4100kg	6HL1-S 205馬力	6,299,000円
KK-FRD 35K4SXT	ドライバン	4000kg	6HL1-S 205馬力	6,359,000円
KK-FRD 34L4XNT	キャブ付シャシ	-	6HK1-TCN 240馬力	5,682,000円
KL-FSD33K 4SRXTR	キャブ付シャシ	-	6HH1-S 225馬力	6,175,000円
KL-FSD34L 4RX4NTR	キャブ付シャシ	-	6HK1-TCC 260馬力	6,953,000円